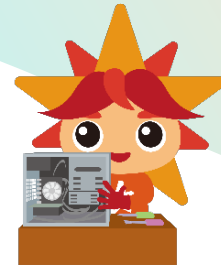


全国アビリンピック

競技内容紹介

パソコン組立



内容

パソコン組立では、4時間の制限時間の中でデスクトップ型パソコンの中身を組み立て、ソフトウェアのインストールや設定を行い、パソコンとして利用できるようにします。

具体的には、まずマザーボードにCPUやメモリーといったパーツを取り付け、次にパソコンケースにマザーボード、電源、ハードディスクといった様々なパーツを順番に設置し、結線していきます。組み立てたパソコンに、OS（Windows10）をインストールし、ネットワークに関する設定をするなど利用できるパソコンに仕上げます。

選手の皆さんはハードウェアとソフトウェアの両面から作業を行い、その完成度・的確さや正常に動作するかを競います。

見どころ・ポイント

様々なパーツから構成されるパソコンにおいて、各パーツをどのように扱って組み立てていくのか、各種ソフトウェアをどのようにインストール・設定してパソコンが完成していくのかをご覧ください。

パソコンのパーツには精密機械が多いため、ちょっとしたことで破損・故障することがあります。また、組み立て作業で仕様通りにパーツを手順良く取り付けをしないとパソコンケース内にきれいに収まらなかったり不具合が起きることもあります。

選手の皆さんの真剣で慎重に取り組む姿勢にご注目ください。

この競技種目に関係する職種で活躍している人々

パソコンの組み立ては、基本的に組み立てる作業が中心になります。様々なパーツがあるなかで、機能性・拡張性・利便性を考えてパーツを選定することにより、自分の思った通りのパソコンや仕様に合わせたパソコンを組み立てることができます。

パーツの扱い方や組み立て方などは少し指導受けることでできるようになるため、取り掛かりやすいと思います。また、パソコンメーカーや電機メーカー、家電メーカー等で働いている方々は、ハードウェアからソフトウェアに関する知識・技能を身につけている人が多いです。この分野の知識・技術を深めていくことで、パソコンのトラブルシューティングの実施、製造業の組み立て作業、家電量販店やパソコン専門ショップなどへの就職も期待ができる場所です。

